

本時のねらい

・Canva で情報発信の危険性を発信するためのポスターを作成することを通して、情報の取扱いについての意識を高める。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・帯学習でタイピングに取り組み、タイピング能力の向上を目指す。
 ・Canva を活用することで自分の意見を簡単に表現・共有することができる。

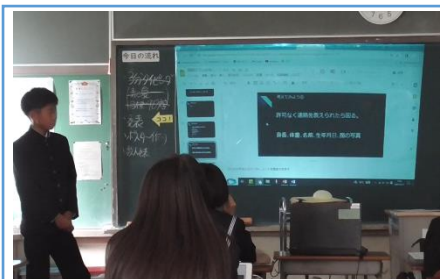
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・iPad ・プロジェクタ ・Google ドキュメント (タイピング) ・iPad 用キーボード
 ・Google classroom (資料配布) ・Google スライド (共有) ・Canva (ポスター作成)

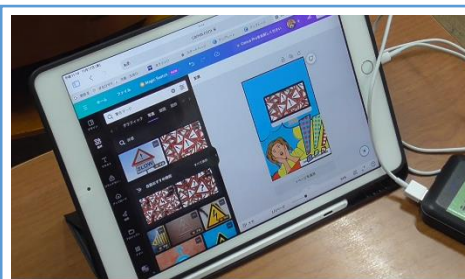
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・帯学習 (タイピング) に取り組む。 ・前時の振り返りをする。 ・前回の内容を各項目 1 人ずつ発表する。 <p style="text-align: right;">【写真 1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Google ドキュメントを利用し、タイピング練習に取り組ませる。 ・ブラインドタッチを意識させ、10分間に300文字を目標に練習させる。 ・スライドを利用し、プロジェクターに投影し発表させる。
めあて：ネット上での情報発信の危険性を発信するためのポスターをネット上で作成しよう。		
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・Canva を利用して、ネット上での情報発信に関する啓発ポスターを作成する。 ・前時の続きとして、本時の時間内に完成する。 ・作成途中のポスターを全体で共有し、伝えたい内容が明確になっているかを確認する。 <p style="text-align: right;">【写真 2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Canva のアクセス方法の説明をおこなう。 ・短時間で伝えたいことが強調されたポスターを作成するために Canva を活用する。 ・机間巡視を行い、見やすさや内容に関する助言をおこなう。 ・ポスターの内容に困ったときは、前時のスライドを確認させる。 ・生徒の創造力を高めることができるよう、作成途中のポスターを、自由に他者参照させる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターが完成した生徒は、発表内容も作成する。 ・完成できた数名が、ポスターの内容を発表する。 <p style="text-align: right;">【写真 3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用 iPad をプロジェクターにつなぎ、ポスターを投影しながら、発表させる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したポスターを提出する。 	

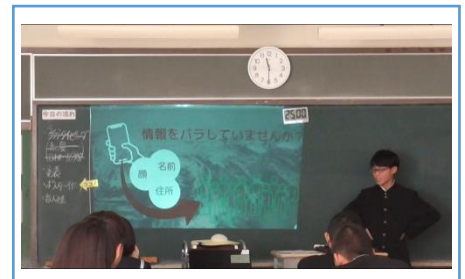
1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】生徒が前回の授業の振り返りを行っている場面



【写真 2】Canva を活用し、啓発ポスターを作成している場面



【写真 3】作成したポスターの内容を、全体に向け発表している場面

児童生徒の反応や変容

・初めて Canva を使ってポスターを作ること、情報モラルについて考えることができた。
 ・4コマ漫画を利用することで、自分の考えをスライドでみんなと共有することができた。
 ・ワードプロセッサなどのソフトウェアなどより、テンプレートや機能が豊富なソフトウェアを利用することで、より創作意欲を向上させ試行錯誤して作成することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・今回、情報モラルをテーマにポスターを作ることや、スライドを利用して意見の交流などを行いました。他の教科や、活動でも利用出来るようにと実践を行った。情報モラルの授業を行う中で、知識だけでなく自分事として考える機会となったことがよかった。